

ひがしおおさか 狂言会



「狐塚」 ©上杉 遙



「昆布売」 ©川西善樹



「三番三」 ©川西善樹

付祝言

※番組、出演者は都合により変更する場合がございますので、
予めご了承ください。

主 人
太郎冠者
次郎冠者
(後見/山下守之)

松本薫
茂山 茂
茂山千之丞

『狐塚 小唄入』

大 名
昆布売
(後見/山下守之)

茂山千作
網谷正美

『昆布売』

(休憩)

三 番 三
千 歳
(後見/松本薫
笛/森田保美)

網谷正美
井口竜也
小鼓/成田達志
大鼓/谷口正壽

『三番三』

茂山千五郎

お 話

網谷正美

令和元年10月12日(土) 14:00開演(13:30開場)

東大阪市文化創造館  DreamHouse 大ホール (東大阪市御厨南二丁目3番4号)

入 場 料 2,000円(全席指定・税込)
※未就学児入場不可

発 売 日 7月14日(日) 10:00~

主 催

PFI東大阪文化創造館株式会社

お 問 い 合 わ せ

東大阪市文化創造館 受付事務所
電話:06-4307-5772
FAX:06-4307-5778
(受付時間:9:00~19:30)

取 扱 方 法
※文化創造館受付事務所で窓口販売はしていません。
■東大阪市文化創造館チケットセンター 電話:0570-08-1515(営業時間:10:00~18:00)
■東大阪市文化創造館オンラインチケット <https://higashiosaka.hall-info.jp/>
※オンラインチケットをご利用いただくには、メールアドレスが必要となります。
※オンラインチケットは午前2時から午前6時まではシステムメンテナンスの為、チケットのお申込はできません。
※車椅子席をご利用の方は、事前に東大阪市文化創造館チケットセンターまでお問い合わせください。

お豆腐のように気軽に楽しみ、飽きがこず味わい深い狂言で、人々に愛され続ける茂山千五郎家による狂言会。開館記念事業にふさわしく、音曲入りで賑やかな番組をお楽しみください。

茂山千作



茂山千五郎



茂山 茂



茂山千之丞



網谷正美



松本 薫



井口竜也



山下守之

あらすじ・解説

三番三(さんばそう)

能にして能にあらずと言われ、天下泰平、国土安穩、千秋万歳、五穀豊饒を祈る祝祷の舞『翁』の後半に狂言方が務める舞です。まず勇ましく急調な揉出しから始まって軽快な喜びの舞「揉ノ段」を舞い、ついで黒式尉の面をかけ千歳から鈴を受け取って、荘重にして飄逸味のある「鈴ノ段」を舞い納めます。

関西切っ手の囃子方による能のお囃子の迫力、そして茂山家の当主・千五郎が家の芸として得意にしている舞の素晴らしさと楽しさを存分にご堪能ください。

昆布売(こぶうり)

供も連れず自身で太刀を持った侍が誰ぞに持たせようと待ち構えていると、若狭の小浜の昆布売りが通りかかります。これ幸いと声をかけ武威で脅して無理やり太刀を持たせるのですが、怒った昆布売りにその太刀で斬りつけられ、昆布を売る真似をさせられます。その売り声を、平家節、小唄節、踊り節と様々に謡いかける所が見所です。

風刺性の強い大名狂言ですが、茂山家の最長老・千作のおおらかな芸風が楽しい舞台を醸しだすでしょう。また、「昆布」はめでたい食べ物で、会館の門出をも言祝ぎます。

狐塚 小唄入(きつねづか)

のどかな田園情緒にあふれた狂言です。昼間は機嫌よく鳴子を振って群鳥を追っていた太郎冠者と次郎冠者、夜になって畔にある庵に入って番をしますが、所は狐が出るという狐塚、しだいに気味が悪くなってきます。そこに主人の「ホーイ」という呼び声。実は二人に酒を振舞いに来たのですが、二人ははてっきり狐だと思い込んでしまうのです。

これが『狐塚』のあらすじですが、『小唄入』になると、二人が鳴子を引く時に引く物尽くしの長い謡を謡いつつ舞います。次代を担う茂と千之丞の見せ所です。

アクセス方法

東大阪市文化創造館
HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall

東大阪市御厨南二丁目3番4号
(近鉄八戸ノ里駅 北約200m)



9月1日
OPEN



大阪難波駅より普通電車で約15分



近鉄奈良線八戸ノ里駅より徒歩約5分



東大阪市文化創造館 ウェブサイト <https://higashiosaka.hall-info.jp/>
東大阪市文化創造館 公式Twitter @hcch2019

※駐車場は駐車台数に限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。